

【下関医療圏】対応方針整理票

整理 番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R7.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の状況 R7.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋（（プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理） ※4			対応方針の実施状況 (令和8年8月末時点) ※5	
				7/1/2025	7/1/2026		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療	医療機関の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数 (2025)	実施状況	備 考 (実施予定時期など)
1	下関	国立病院機構 関門医療センター	400 一般 400	400 高度急性回復 休棟 51	400 高度急性回復 休棟 51	52 地ケア 52	○	◎ ○			○	・患者ニーズの動向に合わせ、高度急性期（救命救急センター・ＩＣＵ）、急性期（一般7対1）、地域包括ケアの3つの病床機能分化を進め、地域医療に貢献している。	・下関医療圏は地域医療構想の第2次中間報告において、4つの中規模病院の再編に関し、まずは4病院体制から3病院体制への再編・統合に係る検討を行うとされた。今後、その実現に向けて関係者と協議を行うこととなり、その議論の過程及び結果に応じて当院の対応方針の見直しを行う。	400 高度急性回復 103	未実施	4病院再編統合の議論に応じて見直しを行う
2	下関	済生会下関総合病院	373 一般 373	373 高度急性 118 255	373 高度急性 118 255		○	○				・高度急性期・急性期機能を有する県西部の基幹病院としての役割を担っている。 ・地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、ドクターヘリ患者受入ヘリポート、災害拠点病院。 ・小児救急医療拠点病院・地域周産期母子医療センターとして、小児・周産期医療の中心的な役割を担う。 ・第二次救急病院群輪番制病院として救急搬送を積極的に受け入れており、特に産婦人科・小児科の救急については、他病院より多く受け入れている。	・高度急性期、急性期の診療を引き続き継続し、下関医療圏の生命を守る基幹病院としての役割を担う。 ・地域周産期母子医療センター、小児救急医療拠点病院として、下関で安心して「産み」「育てる」ことができる医療を提供する。 ・3次救急に準じた設備や対応により、救急患者の受入れを積極的に行う。 ・がん診療連携拠点病院として、質の高いがん治療を提供するため、「手術」「放射線治療」「薬物療法」を組み合わせ、患者の状態にあった医療を提供する。 ・無料低額診療（なでしこプラン）など、生活困窮者に対し、手を差し伸べる事業を行う。 ・地域医療連携により、退院から自宅にもどるまで切れ目のない医療を提供する。 ・心疾患など、専門チームが24時間迅速に対応できる体制を、さらに整備・強化する。 ・最先端の医療機器・技術の導入を推進し、低侵襲な手術・治療に取り組む。 ・また、今後の方針を達成するため、高度最新医療機器導入を推進する（更新含む）。	373 高度急性 126 247	未実施	4病院再編統合の議論に応じて見直しを行う
3	下関	よしみず病院	391 一般 211 療養 180	391 回復慢性 158 233	391 回復慢性 158 233	120 回リハ 60 地ケア 60					○	・独居・認知症高齢者の医療ニーズの増加に対応。 ・回復期リハビリテーション、在宅サービス、後方支援機能の一層の強化。 ・神経難病患者・人工呼吸器装着患者の受け入れ拡大、在宅療養困難者の増加への対応。	・今後とも回復期リハビリテーションをはじめ、通所リハビリや訪問リハビリ等の在宅サービスの充実を一層進めていく。また、亜急性期救急患者の受入れなど、在宅療養後方支援病院としての機能充実を図り、地域包括ケアシステム構築の一翼を積極的に担っていく。 ・当院はこれまで、神経難病患者や人工呼吸器装着患者など、在宅療養の困難度が高い専門医療分野の患者を多く受入れており、今後もその要請に一層応えていく。	391 回復慢性 158 233	実施済	
4	下関	岡病院	46 療養 46	46 回復 46	19 回復 19	46 地ケア 46					○	・回復期機能を担う。	・急性期を過ぎた患者様や自宅療養が困難な患者様の受け皿として、地域における回復期機能の一翼を担う。 ・地域の方々の健康のため、地域に密着したかかりつけ医として、治療だけでなく、健康診断などと呼びかけ、予防医療にも貢献していく。 ・現在の回復期46床のうち27床を減床し、19床とし、診療所へ変更予定。	19 回復 19	実施済	令和7年9月末実施
5	下関	桃崎病院	60 療養 60	60 慢性 60	60 慢性 60							・慢性期機能を担う。・かかりつけや近隣施設からの紹介により治療やリハビリが必要な患者を受け入れる。高齢者総合診療として療養型でも回復期リハに近いレベルのリハビリサービスを提供し在宅復帰に貢献する。	・「地域が病棟、住まいが病室」と捉え、地域住民の病状変化に対し在宅患者の訪問診療や看取りのサービスを強化する。一方、病状により時間外を含めた入院対応も維持する。・慢性期病床の見直しを行い、介護療養病棟の介護医療院への移行を計画していたが、令和6年3月に廃止する。・令和7年に医療療養病棟90床を60床まで減床し、施設建替え計画に入る。	60 慢性 60	実施済	
6	下関	下関市立市民病院	376 一般 376	376 高度急性回復 休棟 60	376 高度急性回復 休棟 60		○	○			○	・高度急性期・急性期機能を担う地域における中核病院の一つである。 ・がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療、災害医療に力を入れ、下関医療圏の中核病院としての役割を果たしている他、在宅医療の普及啓発に努めている。 ・施設基準に基づき地域連携診療計画書を作成し、転院・退院後の治療を担う地域連携機関との間で共有・活用し、地域の患者の治療を総合的に管理している。	・2022年4月に下関構想区域が「重点支援区域」に選定され、2023年3月に開催された下関医療圏地域医療構想調整会議で合意された通り、今後の方向性などについて、下関医療圏の基幹病院として持続可能な医療提供体制が維持できるよう必要な診療規模や果たすべき役割などの検討を進めていく。 ・機能別病床数については、『調整中』に変更する。	調整中	未実施	4病院再編統合の議論に応じて見直しを行う

整理 番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R7.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の状況 R7.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋（（プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理） ※4			対応方針の実施状況 (令和8年8月末時点) ※5	
				7/1/2025	7/1/2026		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療	医療機関の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数 (2025)	実施状況	備考 (実施予定時期など)
7	下関	下関リハビリテーション病院	療養 165 165	回復 165 165	回復 165 165	回リハ 165 165						・リハビリ専門病院（当然、脳血管リハビリ・運動器疾患リハビリ・廃用リハビリを実施。それ以外に心臓リハビリ・脊髄損傷・パーキンソン病LSVTも積極的に実施。）	・在宅でリハビリが必要な方が多くいるため当院では在宅からの対象外の受け入れの必要性がある。当院では外来リハ、訪問リハ、通所リハを積極的に行っており、今後も継続して行っていく。 ・急性期からの早期受入を行う。	回復 165 165	実施済	
8	下関	下関市立豊田中央病院	一般療養 71 60 11	回復 休棟 71 60 11	回復 71 71	地ケア 15 15			○			・下関市北部地域（菊川町、豊田町、豊北町）の山間へき地・過疎地域における一般医療を提供している。 ・24時間救急医療体制を維持し、不採算となる夜間休日の医療サービスを提供している。 ・保健・医療・福祉の連携による地域包括ケアシステムの構築を推進している。	・下関市北部地域の山間へき地・過疎地域において、引き続き、市が良質な医療サービスを提供するとともに、24時間救急医療体制を維持し、不採算となる夜間休日の医療サービスを提供していく。 ・また、退院から在宅支援まで地域と一体となり、保健・医療・福祉の連携により山間へき地・過疎地域における地域包括ケアシステムの構築を推進していく。	回復 71 71	未実施	
9	下関	前田内科病院	療養 43 43	慢性 43 43	慢性 43 43							・入院透析中心。	・透析患者とその家族の高齢化等により通院困難な透析患者の増加が見込まれる中で、透析ができかつ長期入院が可能な療養病棟の役割は大きい。	慢性 43 43	実施済	
10	下関	王司病院	療養 177 177	回復 慢性 177 60 117	回復 慢性 177 60 117	回リハ 60 60						・回復期機能と慢性期機能を担う。	・下関市内や山陽小野田市を含めた総合病院からの受け皿として、当院の役割を明確にし、それに合った病院機能を備える。 ・地域のクリニックとの繋がりを強化し、病診連携を図ることで地域医療へ貢献する。 ・在宅復帰のための援助及び住み慣れた場所で生活するための支援。通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問介護など介護サービスの提供及び介護予防支援を行い、法人全体で地域の健康増進を図る。	回復 慢性 177 60 117	実施済	
11	下関	長府病院	一般 60 60	慢性 60 60	慢性 60 60							・慢性期機能を担う。	・今後も、障害者、難病患者、レスパイト等を受入、貢献していく。 ・改修又は改築により、より良い療養環境の提供を行うとともに、人間ドック、健診等を充実させ、予防医学により健康増進に寄与する。	慢性 60 60	実施済	
12	下関	済生会豊浦病院	一般療養 275 189 86	急性回復 慢性 休棟 275 95 45 86 49	急性回復 慢性 275 144 45 86	地ケア 45 45		○				・高度急性期医療は主に下関市内4大病院が担っており、当院では主に急性期～慢性期、在宅を担う。 ・当院入院患者の疾患は多岐に亘っており、当該区域唯一の総合病院として、幅広い疾患に対応している。 ・救急医療については、多くの救急患者を受け入れ、当該区域で当院が果たしている重要な医療機能の1つ。	・下関市北西部をエリアとする唯一の基幹病院として、二次救急にも対応し、急性期の医療の質を確保するとともに、地域の高齢化に対応するため、回復期・慢性期・在宅の充実が必要とされている。 ・公的病院として、併設する下関市豊浦地域ケアセンターと共同して事業を進め、地域包括ケアシステムの構築を目指していく。 ・一層地域医療へ貢献するため、急性期を担う下関市内4大病院との関わり・連携を強化するとともに、回復期機能の充実を検討する。 人口減少・高齢化が進む中、令和4年4月から当院が所在する豊浦町が、豊北町・豊田町に加え過疎地域として指定を受けることとなった。 令和8年度には同一敷地内の下関市豊浦地域ケアセンター（介護老人保健施設）が済生会に無償譲渡となることが決定しており、医療・福祉を合わせた当該地域における今後の在り方について検討中である。	急性回復 慢性 275 144 45 86	未実施	
13	下関	下関医療センター	一般 285 285	高度急性 285 96 189	高度急性 275 96 179	地ケア 47 47	○	○		○		・地域医療支援病院として、地域の病院・診療所等と連携している。 ・救急告示病院・第二次救急病院群輪番制病院として救急医療を提供している。 ・健康管理センター、介護老人保健施設、訪問看護ステーションを併設している。	・当院の機能は、市内の急性期病院との連携の枠組みで急性期疾患の診療を提供することである。 ・令和5年3月2日に開催された下関医療圏地域医療構想調整会議で合意された通り、今後は当院の提供している医療を維持しつつ下関市立市民病院との再編に向けて協議を進めていくこととする。	調整中	未実施	4病院再編統合の議論に応じて見直しを行う
14	下関	安岡病院	一般療養 234 80 154	回復 慢性 234 106 128	回復 慢性 234 106 128	回リハ 52 54						・回復期機能と慢性期機能を担う。 ・へき地に対する巡回診療	・急性期病院及び地域の在宅療養支援診療所からの紹介入院を中心とした回復期医療（ポスト・サブアキュート機能）の提供体制を充実・強化していく。 ・慢性期医療環境を整備すると共に、特に緩和ケア（がん・神経難病）を通して、質の高い地域慢性期医療を提供していく。	回復 慢性 234 106 128	実施済	
15	下関	武久病院	一般療養 263 60 203	回復 慢性 休棟 263 83 120 60	回復 慢性 休棟 263 83 120 60	回リハ 45 38				○		・回復期機能と慢性期機能を担う。	・地域包括ケアシステムの構築を実現すべく、急性期病院、かかりつけ医、地域包括支援センター等との連携を強固なものにしていく。 ・医療、介護の中重度者を地域で支える役割を担っていく。 ・病棟機能強化のため、病床数の見直し（回復期病床4床の削減）を行うとともに、削減する2病室4床分をカンファレンスルーム及びナースステーションへ変更する。	回復 慢性 263 83 180	未実施	
16	下関	森山病院	療養 86 86	慢性 86 86	慢性 86 86							・慢性期機能を担う。	・地域の急性期病院からの受け皿としての役割。 ・リハビリによる在宅復帰・機能の維持。 ・地域の施設への訪問診療・急変時の対応。	慢性 86 86	実施済	

整理 番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R7.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の状況 R7.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋（（プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理） ※4			対応方針の実施状況 (令和8年8月末時点) ※5				
				7/1/2025	7/1/2026		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療				医療機関の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数 (2025)	実施状況	
17	下関	西尾病院	療養 75 75	慢性 75 75	慢性 75 75							・慢性期機能を担う。	・急性期病院・開業医からの受入先としての慢性期病院の体制の維持。	慢性 75 75	実施済				
18	下関	光風園病院	一般 285 療養 60 225	回復 285 慢性 120 165	回復 285 慢性 120 165	回リハ 120 地ケア 60 60					○	・回復期機能と慢性期機能を担う。	・急性期からの受け入れ（ポストアキュート）や地域の開業医・施設等更なる連携強化による在宅支援機能（サブアキュート）の充実させ、地域多機能型病院としての役割を果たしていく。	回復 285 慢性 120 165	実施済				
19	下関	稗田病院	療養 80 80	慢性 80 80	慢性 80 80							・慢性期機能を担う。	・入院待機状態も多く、地域の確たる需要がある。ターミナルケアを含む地域のニーズに応えていく。	慢性 80 80	実施済				
病院小計			3,745 一般 2,162 療養 1,583	3,745 高度 254 急性 1,092 回復 915 慢性 1,253 休棟 231	3,537 高度 254 急性 1,131 回復 899 慢性 1,253	859 回リハ 442 地ケア 417	4	5	2	6	0			3,648 高度 262 急性 1,123 回復 950 慢性 1,313	実施済	12	未実施	7	実施率 63.2%
20	下関	帆足医院	一般 8 8	急性 8 8	急性 3 3							・大腸ポリペクトミー後の一泊入院のみ。月多くて5名程度。	・将来的には無床化する予定だが、新たな新興感染症流行に備えつつ、将来の医療需要を見据えるとともに、医師・看護師等の限られた医療資源を最大限効率的に活用するため、当面、急性期病床3床を維持する。	急性 3 3	未実施				
21	下関	医療法人松永会 まつなが医院	一般 11 療養 6 5	急性 11 11	急性 11 11					○	○	・急性期機能を担う。	・地域包括ケアシステムに向けて取り組んでいく。	急性 11 11	実施済				
22	下関	井町産婦人科医院	一般 12 12	急性 12 12	急性 12 12							・4機能のうち急性期が中心。	・地域周産母子センターの済生会下関総合病院だけでは対応できない正常分娩を主とした周産期医療体制を維持していく。 ・正常妊娠の管理・分娩、日常生活における婦人科的諸症状への対応、更年期・老年期の婦人科諸症状への対応を維持していく。 ・女性の生き方が多様化し寿命が延びるなか、単に婦人科的診療だけでなく女性科として女性の生涯的なサポートを行う。	急性 12 12	実施済				
23	下関	細江クリニック	一般 19 19	急性 19 19	急性 19 19						○	・急性期機能を担う。	・公的病院と連携し、人工透析医療の提供の維持。 ・透析予防への医療的指導の維持。	急性 19 19	実施済				
24	下関	すずらんレディース クリニック (旧：藤野産婦人科医院)	一般 14 14	急性 14 14	急性 14 14							・地域の産科医療提供施設としての役割を担う	・今後の出生数減少を踏まえるとともに、感染症対策及び宿日直室の設置のため、2床減少を行う。・引き続き、地域の産科医療提供施設としての役割を担う。	急性 14 14	実施済				
25	下関	長府第一クリニック	一般 19 19	慢性 19 19	慢性 19 19							・慢性期機能を担う。	・透析の施設が、下関において当クリニックより北方向（瀬戸内沿）にはないため、利用してもらう。	慢性 19 19	実施済				
26	下関	医療法人社団若草会 木本クリニック	一般 19 19	休棟 19 19	休棟 19 19							・4機能のうち、回復期が中心。	・地域における回復期機能を提供する医療機関として、体制を維持していく。	回復 19 19	未実施				
27	下関	医療法人池田会 いけだ内科	一般 18 18	休棟 18 18	休棟 18 18						○	・急性期機能を担う。	・急性期機能を担う。	急性 18 18	未実施				
28	下関	医療法人正祥会に しはらクリニック	一般 18 18	急性 18 18	急性 18 18					○		・急性期機能を担う。	・急性期機能を担う。	急性 18 18	実施済				
29	下関	佐々木整形外科・ 外科	一般 9 9	急性 9 9	廃止 0 0							・急性期機能を担う。	・地域における急性期機能の一翼を担う。 ・現在の急性期病床14床を、9床に減床する。	廃止 0 0	実施済		無床診療所 令和7年12月実施		
30	下関	門脇医科歯科医院	一般 13 13	休棟 13 13	休棟 13 13							・スタッフ不足により休床中。	・急性期機能を担う。	休棟 13 13	実施済				
31	下関	医療法人社団林田 クリニック	一般 17 17	廃止 0 0	廃止 0 0					○	○	・診療所を廃止する	・診療所を廃止する	廃止 0 0	実施済		令和7年8月実施		
32	下関	医療法人牛尾医院 亀の甲クリニック	一般 19 11 療養 8	急性 19 19	急性 19 19					○	○	・在宅療養支援診療所であり、訪問診療・訪問看護の実施、地域の診療所からの紹介も含め、緊急入院が約半数。	・地域密着型有床診療所及び地域包括ケアシステムの構築に役立つ在宅療養支援診療所としての役割を果たす。 ・かかりつけ医、呼吸器・老年病専門医として外来診療を行い、身近な所でいつでも入院できることで高齢者の在宅生活を支援する。 ・在宅療養支援診療所として24時間体制で、在宅患者の急変時の対応、日常の療養支援、在宅での看取りなど、在宅医療（訪問診療）に積極的に関わり、看護・介護も含めた多職種連携を推進する。	急性 19 19	実施済				

整理 番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R7.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の状況 R7.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋（（プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理） ※4			対応方針の実施状況 (令和8年8月末時点) ※5						
				7/1/2025	7/1/2026		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療				医療機関の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数 (2025)	実施状況		備考 (実施予定時期など)	
33	下関	医療法人社団野口産婦人科医院	10 一般 10	10 急性 10	10 急性 10							・4機能のうち、周産期、婦人科疾患に関しての業務のため急性期が中心。	・地域における周産期医療の崩壊を支える必要性がある。 ・現状は維持する。	10 急性 10	実施済						
34	下関	すみだ内科クリニック	19 一般 19	19 回復 19	18 回復 18					○	○	・4機能のうち回復期が中心。	・総合病院入院から、すぐ在宅に戻れない患者の回復、透析開始から在宅にすぐもどれない患者の在宅に繋ぐ支援、在宅療養患者の急変、悪化に対応するため、24時間対応の体制を維持していく。	18 回復 18	実施済		令和7年8月末実施				
35	下関	やかべ産婦人科医院	18 一般 18	18 急性 18	18 急性 18							・急性期機能を担う。	・急性期機能を担う。	18 急性 18	実施済						
36	下関	医療法人広祐会蟹クリニック	3 一般 3	3 急性 3	3 急性 3							・急性期機能を担う。	・消化器病の検査・治療（がん検診）。 ・肛門疾患の専門的治療。	3 急性 3	実施済						
37	下関	織田クリニック	9 一般 9	9 休棟 9	9 休棟 9							・休床中。	・現状は休床であるが、有床を続けるかどうかは後継者次第。	9 休棟 9	実施済						
38	下関	敬愛堂京野眼科クリニック	4 一般 4	4 休棟 4	4 休棟 4							・休床中。	・休床から再開する。 ・急性期機能を担う。	4 休棟 4	実施済						
39	下関	長府みらいクリニック	19 一般 19	19 急性 19	19 急性 19							・急性期機能を担う。	・急性期機能を担う。	19 急性 19	実施済						
40	下関	浅野整形外科医院	19 一般 19	19 廃止 19	0 廃止 0							・回復期機能を担う。	・無床診療所へ移行する。	0 廃止 0	実施済		令和7年9月実施				
41	下関	伊藤内科医院	19 一般 19	19 慢性 19	19 慢性 19					○		・慢性期機能を担う。	・かかりつけ医機能強化、介護施設との連携、大・中病院の後方支援体制強化、緊急体制対応、入退院支援強化、在宅医療への支援（在宅復帰の為のリハビリ機能強化）、看取り実施。	19 慢性 19	実施済						
42	下関	いとう腎クリニック	19 一般 19	19 慢性 19	19 慢性 19					○		・透析ベッド42床（夜間透析実施）。	・高齢で要介護度の高い患者、慢性度の高い透析患者の受入体制への対応、入退院支援対応、総合病院等の後方支援対応。 ・院内療法士によるリハビリ、介護部門との連携。	19 慢性 19	実施済						
43	下関	（医）慶愛会クレスト整形外科	19 一般 19	19 休棟 19	19 休棟 19							・手術適応でない骨折等の急性期から回復期、及び慢性期の急性悪化例の入院リハビリ。	・手術例以外の急性期から回復期、慢性期の急性悪化例の入院治療、又、総合病院での術後や高度の急性期医療後のリハビリ。	19 回復 19	未実施						
診療所小計			354 一般療養 34113	337 高度急性回復慢性休棟廃止 016019578219	221 高度急性回復慢性 01461857		0	0	7	0	6				277 高度急性回復慢性 01645657	実施済	20	未実施	4	実施率	83.3%
医療圏合計			4,133 一般療養 2,4961,637	4,133 高度急性回復慢性休棟 2561,3209531,281323	3,758 高度急性回復慢性 2541,2779171,310	859 回りハ地ケア 442417	4	5	9	6	6				3,925 高度急性回復慢性 2621,2871,0061,370	実施済	32	未実施	11	実施率	74.4%

※1：令和7年度病床機能報告における病床数。

※2：中国四国厚生局「届出受理医療機関名簿（届出項目別）」において、【地ケア：地域包括ケア病棟入院料又は地域包括ケア入院医療管理料】、【回りハ：回復期リハビリテーション病棟入院料】を届け出ている病床数。

※3：【地域医療支援：地域医療支援病院の承認を受けた病院】、【救急医療施設：二次救急医療施設の認定を受けた病院は「○」、：三次救急医療施設の認定を受けた病院は「◎」】、【在宅医療支援：在宅医療支援病院又は在宅医療支援診療所の届出のある医療機関】、【在宅医療後方支援：在宅医療後方支援病院の届出のある病院】、【終末期医療：令和6年度病床機能報告における「有床診療所の病床の役割」の項目のうち、「終末期医療」を選択している有床診療所】

※4：「機能別病床数(2025)」については、令和8年8月までに調整会議において合意された2025プランの内容を反映している。なお、今回、変更を協議する場合は、変更内容を反映している。また、有床診療所については、「病床機能報告による病床数」の「R7.7.1」の機能別病床数を反映している。

※5：対応方針の実施状況は令和7年度病床機能報告等で確認して記載し、未実施の場合は実施予定時期を記載。例：令和8年8月頃。また、有床診療所で2025プランの機能別病床数が休棟又は廃止の場合については、実施済に区分している。